日本の
ひなた
宮崎県

宮崎県 令和4年度当初予算案(概要)

宮崎県

目　　次

Ⅰ　予算額　・・・・・　1

Ⅱ　予算編成の考え方　・・・・・　2

Ⅲ　予算案を通じて実現したい本県の姿　・・・・・　3

Ⅳ　予算案の内容（主なもの）　・・・・・　4

Ⅰ 予算額

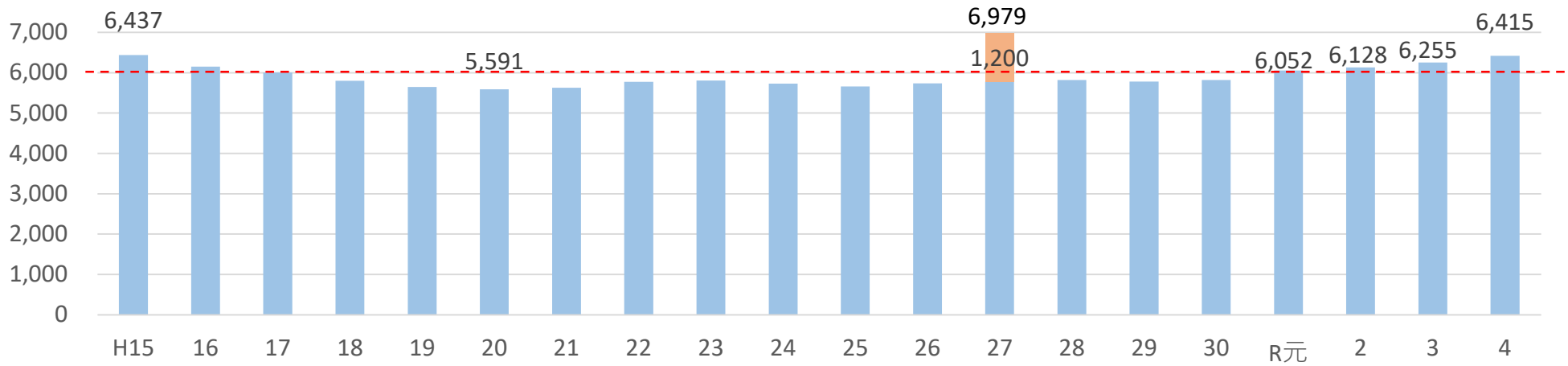
日本の
ひなた
宮崎県

○ 令和４年度当初予算(一般会計) 6,415億円

（対前年度比　160億円、2.6%増）

補正時期	補正予算額		
	国経済対策	コロナ対策	合　計
1月補正	235億円	65億円	300億円
2月補正	64億円	20億円	84億円
合　計	299億円	85億円	384億円

◇当初予算規模の推移(一般会計)



※平成19、23、27年度及び令和元年度は6月補正後　平成27年度の1,200億円は口蹄疫対策転貸債等償還金

Ⅱ 予算編成の考え方

1 15か月予算として編成

国の16か月予算と連動し、本県における新型コロナ対策や経済対策、
県土の強靱化などを切れ目なく講じるため、令和3年度補正予算(1月、2月)と
一体的な予算として編成(15か月予算)

ワクチン接種会場

2 新型コロナ対策に万全を期す

県民の「安全・安心」を確保するため、
新型コロナ対策に万全を期すとともに、
県民のくらしと地域経済の復興に向けた取組を推進

3 重点施策の推進

持続可能な地域づくり・人口減少対策を強化するとともに、
デジタル変革(DX)やゼロカーボン社会づくりなど、
本県の新たな成長活力を創る取組を積極的に展開

Ⅲ 予算案を通じて実現したい本県の姿

日本の
ひなた
宮崎県

「安心の土台」をつくる

○ 新興感染症のパンデミックがもたらす社会不安や、
激甚化・頻発化する自然災害の脅威に対し、
県民だれもが心穏やかな日常を、安心してくらせる「土台」をつくる

〈コロナ禍〉のくらしにより添う

○ 〈コロナ禍〉の時代と社会のなかで、
社会的に弱い立場におかれている県民の方々にしっかりとより添う

○ 宮崎の「食」のいとなみを大切にし、
県内各地に根ざす文化・芸術の灯をつないでいく

みやざきの未来をはじめる

○ わたしたちの足元=ローカルの価値を見つめなおし、
「みやざきの未来」をはじめるために、
〈ポストコロナ〉を見据えた持続可能な社会モデルを求める

Ⅳ 予算案の内容（主なもの）

日本の
ひなた
宮崎県

1 感染拡大防止策と地域医療の確保

- PCR検査等体制の確保
- 受入病床・軽症者宿泊療養施設の確保
- ワクチン接種の促進　など

3 地域経済の早期回復、応援消費に向けた対策

- 県内外からの観光誘客、スポーツ合宿誘致
- 県産品の地産地消・応援消費の促進
- 文化・芸術活動の再開　など

宮崎県・新型コロナ総合対策 395億円

（令和3年度1月補正予算　65億円、2月補正予算　20億円
令和4年度当初予算　311億円）

2 県民のいのちとくらしを守るための支援

- 生活困窮者等への支援金
- 持続可能な地域交通ネットワークの構築
- 農林水産業の生産基盤の維持　など

4 本県の新たな成長活力の創出につなげる取組

- 産業・自治体のDX推進
- 中小企業等の新事業展開・生産性向上
- 県産品の新たな販路開拓　など

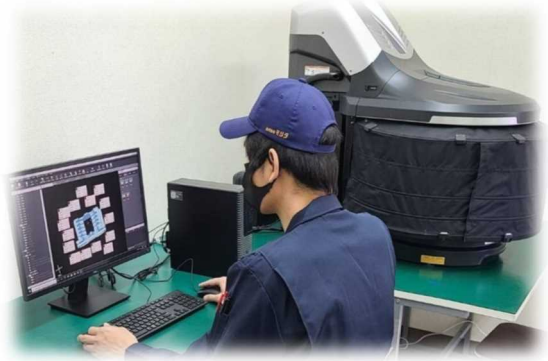
＜参考＞令和3年度の新型コロナ総合対策の取組

《PCR検査センター》

宮崎空港、宮崎駅、宮交シティ、都城及び延岡の県内5カ所に設置

《ジモ・ミヤ・タビキャンペーン》

県内宿泊等の割引支援や県内の土産物店・飲食店等で使用できるクーポンを付与



《企業の新技術・新商品開発》

新たな事業展開や医療関連機器開発、ICT技術導入等に係る経費を補助

《重症化予防センター》

令和3年9月設置
重症化リスクのある自宅・宿泊療養者に対し、抗体カクテル療法などの医療を提供

《市町村と連携した消費喚起策》

プレミアム付き商品券やクーポン券配布等の取組を支援（26市町村）　※写真は宮崎市の例

《県産農畜水産物の応援消費の推進》

のべ334校で、県産牛肉やみやざき地頭鶏、水産物などの食材を学校給食に提供
※R3.10月末時点

1 「安心の土台」をつくる

日本のひなた宮崎県

（1） 感染症に強い社会づくり

○検査・医療提供体制、軽症者宿泊療養施設の確保　など　183億23百万円

PCR等の検査体制・受入病床等の医療体制の確保など

○ワクチン接種緊急支援　19億85百万円

市町村と連携し、ワクチンの追加接種を速やかに行うための支援

○自宅療養者への健康観察体制の確保　4億43百万円

医師・看護師の電話・訪問による健康観察や生活用品配付などの支援
令和4年度から、妊婦が自宅療養となった場合に、周産期母子医療センターが遠隔で妊婦の状態を観察できる機器を新たに導入

○介護施設等における感染防止対策の推進　4億4百万円

県内の介護施設等における陰圧装置の設置や個室化改修などを支援

1 「安心の土台」をつくる

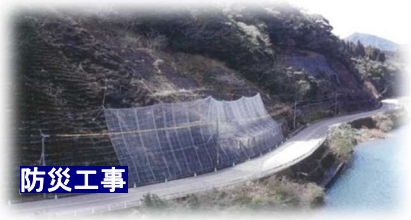
日本の
ひなた
宮崎県

（2） 災害に強い県土づくり

○防災・減災、国土強靱化対策の推進　231億87百万円

令和3年度1月補正予算と一体的に予算を計上し、県土の強靱化を重点的・集中的に推進

＜令和3年度1月補正予算 ： 162億5百万円＞



○木造建築物等の地震対策支援　45百万円

市町村と連携し、木造住宅の改修工事に係るアドバイザーの派遣や耐震診断、耐震改修工事、危険ブロック塀の除去などを支援

㊨防災情報システムのデジタル強靱化　24百万円

防災情報システムの機能強化、市町村システムとのデータ連携機能等を構築

（3） 地域の安全・安心を守る

㊨警察署建替に係る調査　3百万円

治安・防災上の重要拠点である警察署のうち、老朽化が進む都城警察署、水害のリスクがある高岡警察署の再整備に着手

＜※現時点の総事業費の見込み（概算）（令和4年度～12年度）　約60～70億円＞

㊨歩行者事故ゼロに向けた交通安全対策　9百万円

注意喚起の効果が高いカラー舗装による横断歩道をモデル的に整備し、交通安全対策を推進

＜参考 ： 交通安全対策（信号・標識等）に係る予算＞　令和4年度当初予算 ：　13億44百万円
令和3年度2月補正予算 ：　36百万円

② 〈コロナ禍〉のくらしにより添う

日本の ひなた 宮崎県

（1） 社会的に弱い立場におかれている方々により添う

㊨生活困窮者支援制度に係る広報強化　74百万円

生活困窮者への支援制度をより広く周知するための相談窓口の設置や広報を推進

＜令和3年度1月補正予算で計上＞

㊙自殺対策セーフティネット強化　8百万円

相談体制を拡充するとともに、悩みを抱える人を適切な相談機関につなげるための情報発信を強化

＜令和3年度1月補正予算で計上＞

㊨ひきこもり実態把握・情報発信　10百万円

ひきこもり本人の実態や求められる支援策等を把握するための調査を実施

㊙医療的ケア児等の在宅支援体制強化　29百万円

こども療育センターに「医療的ケア児支援センター」を設置するとともに、コーディネーター養成や研修などを推進

② 〈コロナ禍〉のくらしにより添う

日本の
ひなた
宮崎県

（2） 宮崎の「食」のいとなみを守る

○安全安心の飲食店づくりの推進（ガイドライン認証支援）	3億13百万円
㊐ひなた飲食店認証店への応援	4億39百万円

飲食店の衛生環境整備やプレミアム付電子食事券の発行により、
「ひなた飲食店」認証の取得を促進　＜令和3年度1月補正・2月補正予算で計上＞

○県産農畜水産物の応援消費推進	4億64百万円

県産農畜水産物の学校給食における活用や送料支援などにより、
地産地消・応援消費を推進

（3） 地域の文化の灯（ともしび）をつなぐ

㊐文化で紡ぐ地域活力の再興応援	1億52百万円
㊐みんなが繋がる　ひなたの文化活動推進	40百万円

国文祭で中止となったイベントを改めて実施する
「国文祭再チャレンジ事業」や地域文化の活動再開に向けた支援、
大規模なアートイベントなど、情報発信や文化活動を推進

3 みやざきの未来をはじめる

日本のひなた宮崎県

（1） 持続可能な地域交通・物流ネットワークづくり

新宮崎県バスネットワーク最適化支援基金の設置	13億円
新県内のバスネットワーク最適化に向けた支援	3億81百万円

利用者数の減少により、路線維持が困難となっている広域的なバス路線について、 県・市町村・交通事業者が一体となって最適化を図り、 持続可能な地域交通ネットワークとするため、令和8年度までの5年間で15億円規模の財源を確保し、集中的に再構築に取り組む

新宮崎県中小企業高度化資金貸付 （※特別会計の事業費を含む）	40億円
新船旅の新たな魅力開発・発信支援	6百万円

宮崎カーフェリーの新船建造に必要な資金の一部について、貸付を実施
あわせて、船旅ならではの魅力をより高める船上コンテンツの開発などを支援

［宮崎カーフェリーの新船］
フェリーたかちほ（R4.4月就航予定）
フェリーろっこう（R4.10月就航予定）

新船の内部（イメージ）

3 みやざきの未来をはじめる

日本の
ひなた
宮崎県

（2） 2050年ゼロカーボン社会づくり

㊨企業の災害対応力強化・ゼロカーボン化促進　25百万円

県内事業者の太陽光発電などの再生可能エネルギー設備の導入を支援し、ゼロカーボン化と同時に事業継続計画(BCP)策定を推進

㊨持続可能なみやざきグリーン農業構築　44百万円

環境にやさしい農業技術を広げていくため、減化学肥料・農薬及び温室効果ガス削減に関する技術実証などを支援

㊨未来につなぐ畜産バイオマス利活用支援　24百万円

持続可能な畜産経営の実現に向け、家畜排せつ物の新たな利用方法の検討や適正処理などを支援

〇森林吸収源としての森林整備(公共事業等)　**92億6百万円**

3 みやざきの未来をはじめる

日本の ひなた 宮崎県

（3） デジタル変革(DX)の一歩を踏みだす

㊐みやざきDXさきがけプロジェクト推進　60百万円

事業者支援団体等を対象とする「DX塾」や、高校生・大学生を対象とした「ITプログラミングクラブ」などを開催

学生のITプログラミング活動

㊐みやざきDXさきがけプロジェクト推進実装支援　1億11百万円

デジタル化の好事例を生み出し、県内に広めていくため、各産業分野におけるデジタル技術の導入などの取組を支援

㊐自治体DXサポート　15百万円

県及び市町村のデジタル化を推進するため、様々な分野に精通した外部デジタル人材を派遣

農薬散布用ドローン講習会

㊐みやざき農業DXスタートアップ　10百万円

農業のDXを推進するため、DX指導人材の育成やデータの活用と分析、ベンチャー企業等との連携強化を支援

3 みやざきの未来をはじめる

日本の
ひなた
宮崎県

（4）「スポーツランドみやざき」の新時代づくり

㊨屋外型トレーニングセンター整備　18億51百万円

旧オーシャンドーム跡地に、ラグビー、サッカー、
陸上のトップアスリート等の合宿拠点となる施設を整備

＜令和3年度2月補正予算で計上＞

ラグビー日本代表合宿

○国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会

施設整備（主要3施設、練習施設など）	74億36百万円
競技力向上（16事業）	3億　4百万円

陸上競技場（都城市）
［R7年度供用開始予定］

体育館メインアリーナ（延岡市）
［R7年度供用開始予定］

練習施設の整備（水球プールのイメージ）

3 みやざきの未来をはじめる

日本の ひなた 宮崎県

（5） みやざきの未来を担う子どもたちを育てる

㊙みやざきの子どもを守る総合支援　90百万円

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家を学校等に配置・派遣し、いじめやネットトラブル等の未然防止に向けた教育相談体制充実などの取組を強化

㊙ヤングケアラー等支援体制整備　21百万円

ヤングケアラーの実態調査を行うとともに、コーディネーターによる相談対応などの支援を実施

㊙中・高校生の県内就職促進　44百万円

若者が県内で働くことの魅力を感じてもらうため、中学生と企業との意見交換会や高校生に対する企業説明会などを実施

（問合せ先）
財政課　財政企画担当
TEL：0985-26-7015（内線：2093）